

豊かな自然環境とクリーンな生活を応援します。

笠原町クリーンセンター



いなか型未来都市をめざして



厚生年金・国民年金積立金還元融資施設



ごあいさつ

自然あふれる故郷を、清潔で明るく住みよい町に守り育てることは、私たちの願いであります。

特に廃棄物処理は町政の重要な課題となっていました。

ここに長年の念願でありました「笠原町クリーンセンター」が完成いたしました。

この施設は、日量18トンの焼却能力を持ち、最新の技術を導入、特にダイオキシン対策には公害の未然防止のため万全を期しました。

またリサイクルセンターとしての機能も兼ね備え、不燃ごみ・粗大ごみ処理ライン、缶類・ビン類処理ラインにより資源化とごみ処理の迅速化に大きく寄与するものであります。

今後は施設能力を十分発揮できるよう、町民の皆様には適切なごみの分別をお願いし、管理運営にも最善を尽くすことにより、快適な生活環境づくりに貢献できるものと確信しております。

最後になりましたが、本施設の建設にあたり、多大なるご協力、ご指導いただきました関係者各位に対し、心から感謝申し上げ、ごあいさついたします。

平成11年3月

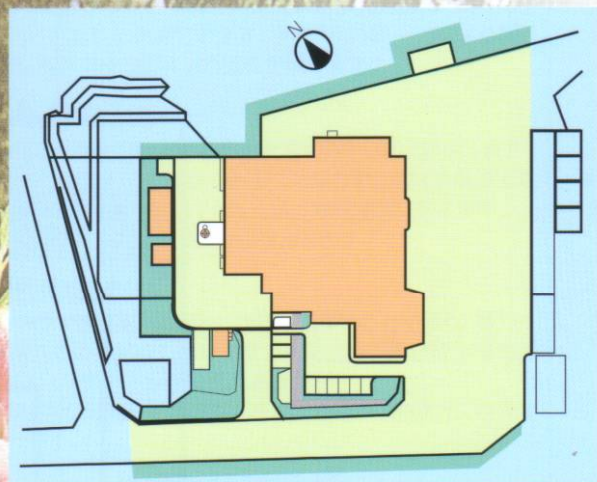
笠原町長 水野隆夫



施設の概要

名称	笠原町クリーンセンター
所在地	岐阜県土岐郡笠原町4022-7 TEL 0572-44-1422
建設工期	着工：平成9年8月 竣工：平成11年3月
敷地面積	約8,900m ²
処理能力	焼却施設：18t/8h (9t/8h×2炉) リサイクルセンター：4.7t/5h 不燃・粗大ごみ処理設備：2.2t/5h 缶類処理設備：1.1t/5h ビン類処理設備：1.4t/5h
総事業費	1,729,936千円
工事費	1,701,000千円
施工監理費	23,940千円
整備計画書費	4,996千円
財源内訳	
国庫補助金	260,907千円
県補助金	759千円
地方債	1,387,400千円
その他	80,870千円

平面配置図



設備の概要

◆ 焼却施設

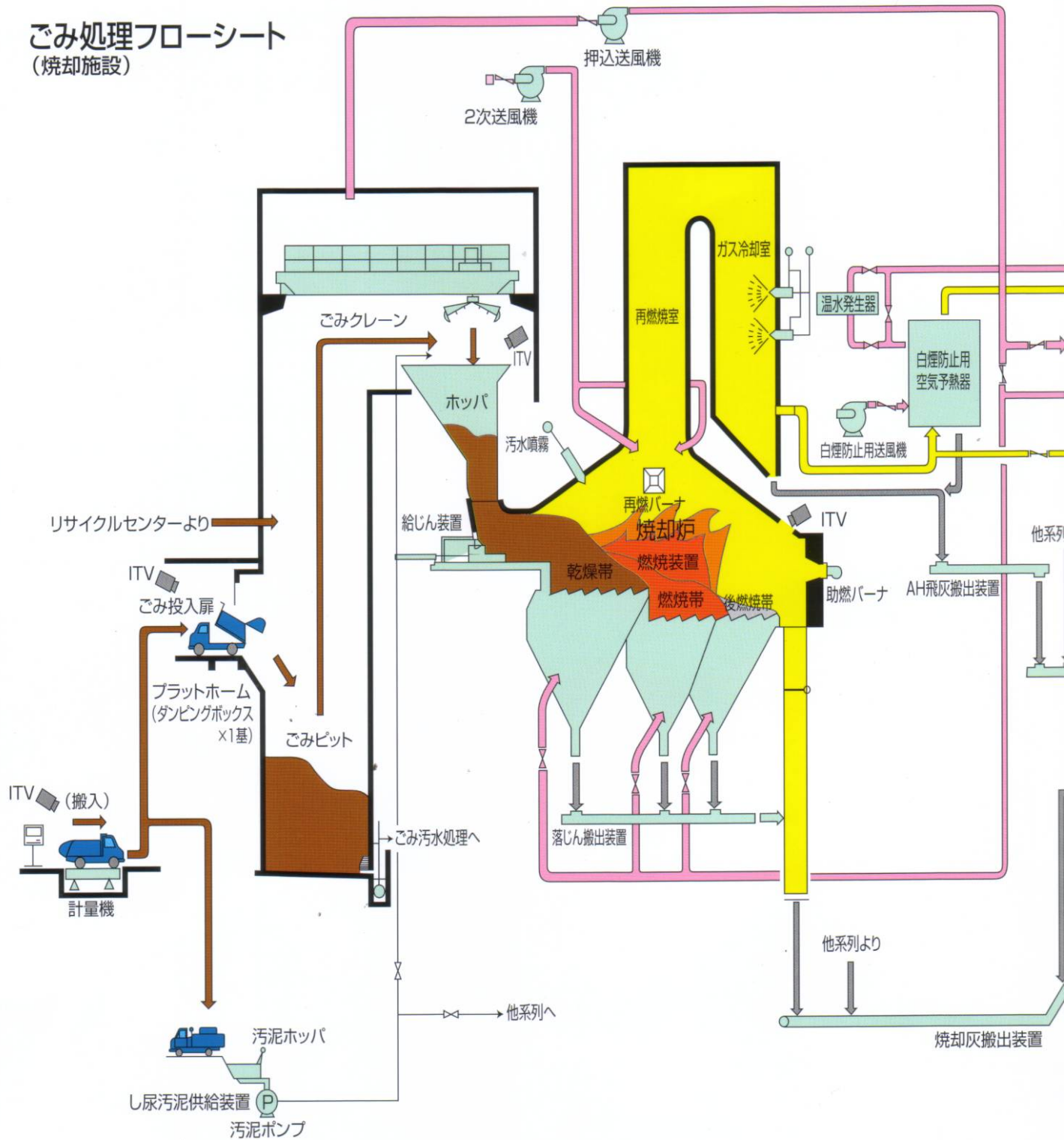
炉型式	ストーカ式機械化バッチ燃焼式
処理能力	9t/8h×2炉
ガス冷却設備	水噴霧式
排ガス処理設備	集じん器(バグフィルタ)+消石灰、 活性炭噴霧式有害ガス除去装置
飛灰処理方式	キレート樹脂安定化装置
排ガス基準値(乾きガス基準、O ₂ 12%換算値)	
ばいじん	0.05g/m ³ N以下
一酸化炭素	50ppm以下(1時間平均値)
酸素	6%以上
塩化水素	700mg/m ³ N以下
硫黄酸化物	K値1.5以下
窒素酸化物	250cm ³ /m ³ N以下
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N以下 (定格運転時)
公害防止基準	
騒音	60dB(6~8、19~23時) 65dB(8~19時) 50dB(23~6時)
振動	65dB(8~19時) 60dB(19~8時)

◆ リサイクルセンター

不燃・粗大ごみ処理設備	
処理方式	一次破砕機(二軸せん断式) 二次破砕機(堅型回転式)
処理能力	2.2t/5h
選別方式	磁選機、可・不燃選別機
缶類処理設備	
処理方式	圧縮成型処理
処理能力	1.1t/5h
選別方式	磁選機、アルミ選別機
ビン類処理設備	
処理方式	手選別処理
処理能力	1.4t/5h
選別方式	手選別(白、茶、青・緑、黒)
公害防止基準	
粉じん	0.1g/m ³ N以下
騒音	60dB(6~8、19~23時) 65dB(8~19時) 50dB(23~6時)
振動	65dB(8~19時) 60dB(19~8時)

優れた技術の採用で安全に衛生的にごみ焼却。

ごみ処理フローシート (焼却施設)



■プラットフォーム

計量されたごみを、ごみビットに投入します。持ち込み車はダンピングボックスを使用します。



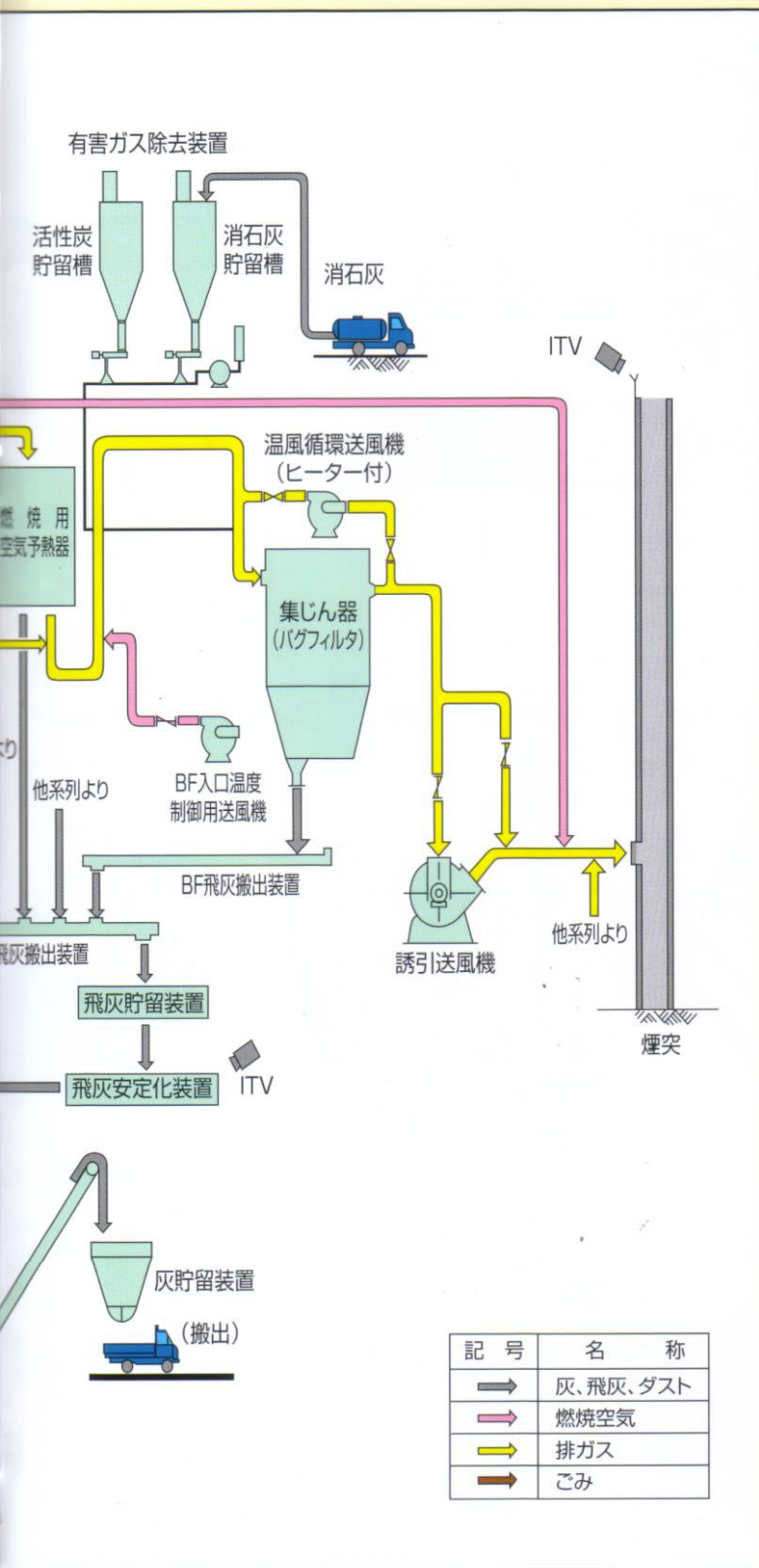
■ごみクレーン・ホッパ

ごみは、ごみビット内で、クレーンで均一に攪拌され、ホッパより炉内に供給されます。



■焼却炉

ごみは炉内でストーカによって解きほぐされながら、完全燃焼します。



ごみ焼却施設

■ごみの流れ

収集されたごみは、ごみピットに貯留され、ごみクレーンでよく攪拌します。ごみクレーンでホッパに投入されたごみは、給じん装置で炉内に定量的に供給されます。炉内ではストーカにより解きほぐされ、高温高压空気により完全燃焼します。

■排ガスの流れ

燃焼排ガスは再燃焼室で二次空気と混合され、完全燃焼します。その後ガス冷却室で水噴霧し急速に冷却され、空気予熱器で余熱を回収した後、集じん器でばいじん、塩化水素、ダイオキシン等を基準値以下に除去し煙突から排出します。

■空気の流れ

燃焼に必要な空気をごみピットから吸引することにより、場外へ臭気が漏れるのを防止しています。一次燃焼空気は空気予熱器で高温にして、炉の下から吹き込みます。二次燃焼空気は炉出口付近に高速で吹き込み、未燃ガスを完全燃焼させます。

■灰・ダストの流れ

完全燃焼された灰は焼却灰搬出装置で運ばれ、灰貯留装置に貯留されます。飛灰は集じん器で捕集され飛灰安定化装置でキレート剤を加えて安定化され、灰貯留装置に貯留されます。



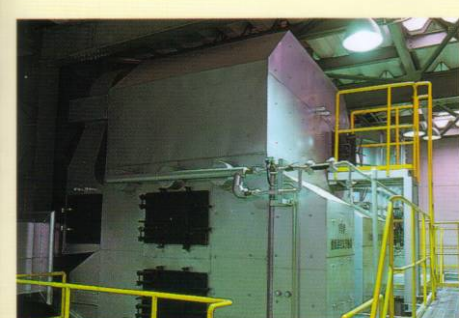
■灰貯留装置

焼却灰と安定化処理された飛灰固化物を貯留します。



■中央操作室・操作盤

施設の運転操作、監視、管理を集中して行います。



■空気予熱器

排ガスの余熱で燃焼空気、白煙防止用空気を必要な温度に加熱します。



■集じん器

排ガスに含まれるばいじん、塩化水素、ダイオキシン等を除去します。

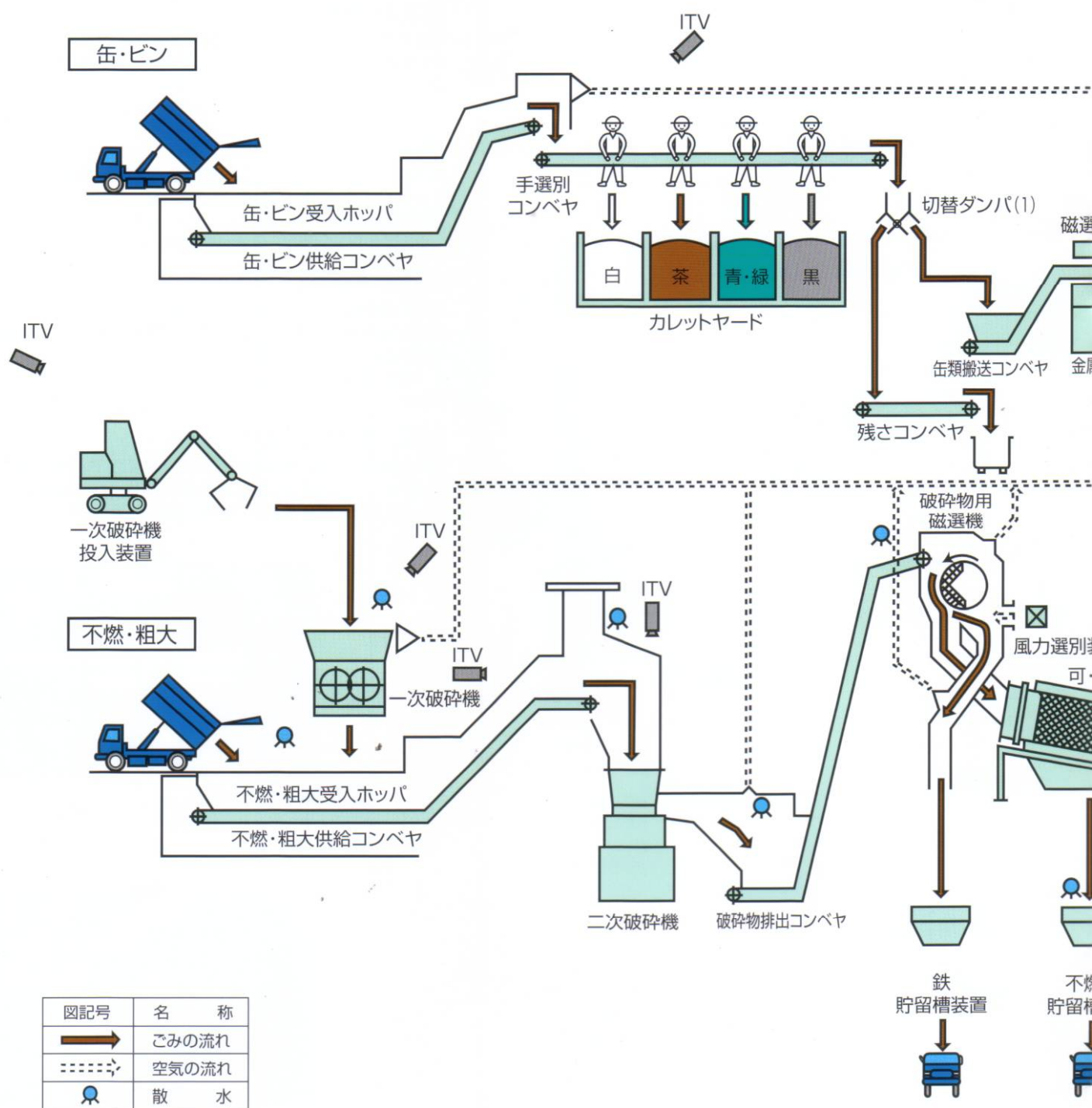


■飛灰安定化装置

集じん器で捕集した飛灰にキレート剤を加えて安定化し、有害物質の溶出を防止します。

優れた技術の採用で資源を有効にリサイクル。

ごみ処理フローシート (リサイクルセンター)



■粗大ごみプラットホーム

ごみを降ろして危険物、破碎不適物を取り除きます。可燃性粗大ごみを破碎します。また生きビンは回収されます。



■一次破砕機

可燃性粗大ごみを破碎します。



■二次破砕機

不燃ごみ、不燃性粗大ごみを破碎します。

リサイクルセンター

■不燃・粗大ごみの流れ

収集されたごみはプラットホームで危険物、破碎不適物が取り除かれ、可燃性粗大ごみは一次破碎機で、不燃ごみ、不燃性粗大ごみは二次破碎機で破碎されます。破碎されたごみから破碎物用磁選機で鉄分を選別した後、可・不燃選別機で可燃物と不燃物を選別します。選別された鉄分は一時貯留したのち、リサイクルされます。不燃物は埋め立てられ、可燃物は焼却施設に送られます。

■ビンの流れ

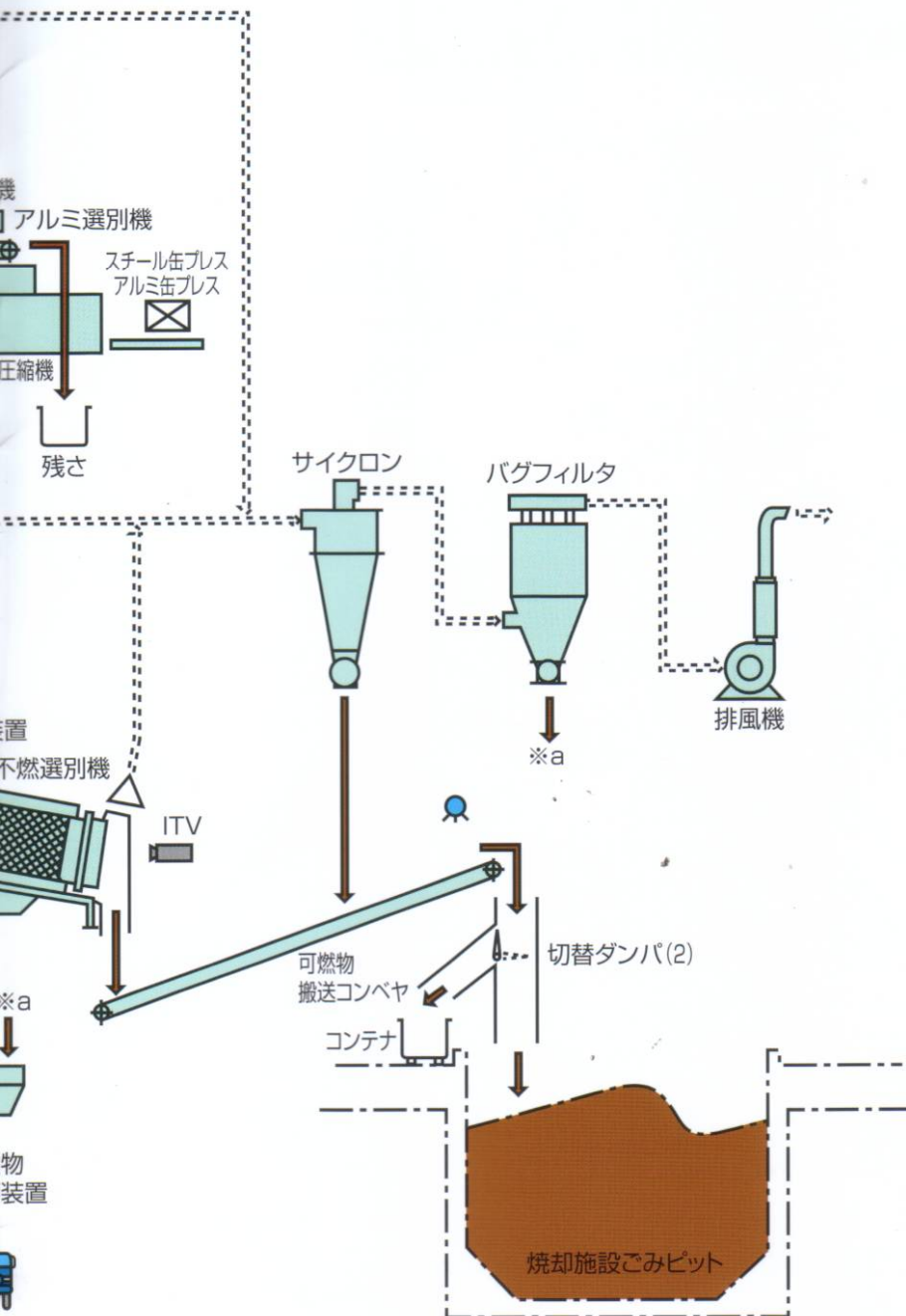
収集されたビン類からプラットホームで生きビンを回収します。その他のビン類は手選別コンベヤ上で、4色に選別されます。色別に分けられたビン類は、カレットヤードに一時貯留したのち、リサイクルされます。

■缶の流れ

収集された缶類はプラットホームで危険物、処理不適物を取り除いた後、コンベヤで搬送されて磁選機、アルミ選別機で鉄缶とアルミ缶に選別され、金属圧縮機で圧縮成型されます。成型品はストックヤードに一時貯留したのち、リサイクルされます。

■空気の流れ

破碎機等各所で発生した粉じんは、集じんダクトにより集められてサイクロン、バグフィルタ等の集じん装置で集じん除去されます。



■集じん装置

各所で発生した粉じんを除去します。



■可・不燃選別機

破碎物の大きさにより、不燃物と可燃物を選別します。



■金属圧縮機

選別された鉄、アルミを圧縮成型します。



■手選別室

収集されたビンを色別に選別します。

■笠原町位置図



事業主体 笠原町

笠原町役場生活環境課

〒507-8650 岐阜県土岐郡笠原町2082-5
TEL (0572) 43-3131 (代) FAX (0572) 43-6479

笠原町クリーンセンター

〒507-0901 岐阜県土岐郡笠原町4022-7
TEL (0572) 44-1422 FAX (0572) 44-2847

設計・施工監理: **中日本建設コンサルタント株式会社**

〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目8番6号 ストックビル名古屋
TEL (052) 232-6032 (代) FAX (052) 221-7833

設計・施工: **株式会社荏原製作所 中部支社**

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目7番20号 日土地栄町ビル
TEL (052) 264-4951 FAX (052) 264-4956